

令和3年（2021年）5月13日

基盤共通教育科目「YU empowering with SDGs」を開講

～県内企業、自治体等との連携による学修カリキュラム～

【本件のポイント】

- 今年2月に実施した「SDGsに関する意識調査アンケート」では、昨年7月に行った同調査と比べ、本学学生と教員のSDGs認知度が大幅にアップ（学生：69.2%⇒89.0%、教員：43.4%⇒83.7%）
- 令和3年度に本学が開講する全4158科目のうち、3446科目がSDGsの17目標のいずれかに関連（全体の82.9%）。
- 令和3年度から基盤共通教育科目「YU empowering with SDGs～ローカルSDGsの実践」を新たに開講（右：4/26の講義）。



【概要】

本学では、昨年7月に“YU empowering with SDGs”の方針を掲げ、様々なSDGs活動をempower!しています。その結果、今年2月に実施した「SDGsに関する意識調査アンケート」では、昨年7月に行った同調査と比べ、本学学生と教員のSDGs認知度が大幅にアップし（学生：69.2%⇒89.0%、教員：43.4%⇒83.7%）、令和3年度に本学が開講する全4158科目のうち、3446科目がSDGsの17目標いずれかに関連（全体の82.9%）するなど、SDGsを実践する意識は確実に向上しています。

このような中、上記アンケートに寄せられた“SDGsを大学で学びたい”という学生の意見も踏まえ、今年度基盤共通教育科目として「YU empowering with SDGs～ローカルSDGsの実践～」を新たに開講しています。本科目は、「本学のSDGsに関連する教育・研究と山形県内の企業・自治体等における先進的なSDGsの実践を学ぶことによって“自分ごと”としてSDGsを捉え、行動できるようになること（シラバス（授業計画）より ※P4参照）」を目的とし、県内の7名のローカルSDGsの実践者から講演いただき、学部1年生を中心に約60名が受講しています。

【SDGsに関する意識調査アンケート】

山形大学では、前回（2020年7月）のアンケートを踏まえ、SDGsに関するポータルサイトの開設や、セミナー、学生シンポジウムの開催などを行ってきましたが、学内における認知状況の変化を確認し、今後の取り組みに反映することを目的に第2回のアンケートを行いました。概要は以下のとおりです。

- 期 間：【学生用】2021年2月2日～2月15日
【教員・職員用】2021年2月3日～2月15日
⇒前回より2、3日長い
- 方 法：【学生用】web方式のアンケートをWebClass（学習支援システム）で依頼
【教員・職員用】web方式のアンケートをメールで依頼
⇒前回と同じ
- 回答率：【学生用】7.7%（671/8664）（前回：19.2%）
【教員用】27.0%（227/842）（前回：32.8%）
【職員用】22.0%（309/1402）（前回：38.7%）

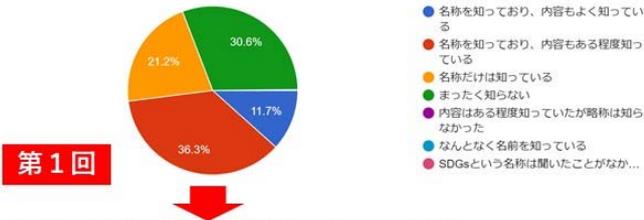
【学生用】

- ☑ボックス前回同様、学部1年生の回答が半数近く、低学年ほど回答率が高い。
- ☑「名前だけは知っている」まで加えると、69.2%⇒89.0%と認知度は格段にアップ。
- ☑「SDGsをどこで知りましたか？」では、前回の「小中高の授業」から今回は「大学の講義」が1位に。
- ☑「大学でSDGsを学びたいですか？」では、「とても思う」+「まあまあ思う」が前回75.6%⇒81.7%と大幅増。

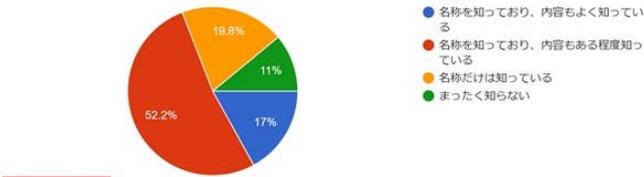
【学生用】

Q3 あなたはSDGsを知っていますか。

Q4 あなたは「SDGs（持続可能な開発目標）」を知っていますか？
1,666件の回答



Q3 あなたは「SDGs（持続可能な開発目標）」を知っていますか？
671件の回答



「名前だけは知っている」まで加えると、69.2%⇒89.0%と認知度は格段にアップしている。

第2回

6

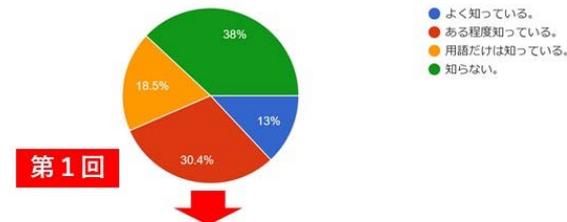
【教員用】

- ☑認知度（「よく知っている」+「ある程度知っている」）が前回43.4%⇒83.7%と大幅増。
- ☑SDGsに関する教育を「行っている（行う予定）」が17.8%⇒43.2%と大幅増。
- ☑SDGsに関する研究を「行っている（行う予定）」が21.0%⇒38.3%と大幅増。

【教員用】

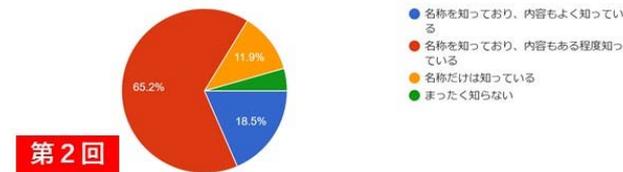
Q4 あなたはSDGsを知っていますか？

Q4 SDGsを知っていますか？
276件の回答



「よく知っている」+「ある程度知っている」が前回43.4%⇒83.7%と大幅増。

Q4 あなたは「SDGs（持続可能な開発目標）」を知っていますか？
227件の回答

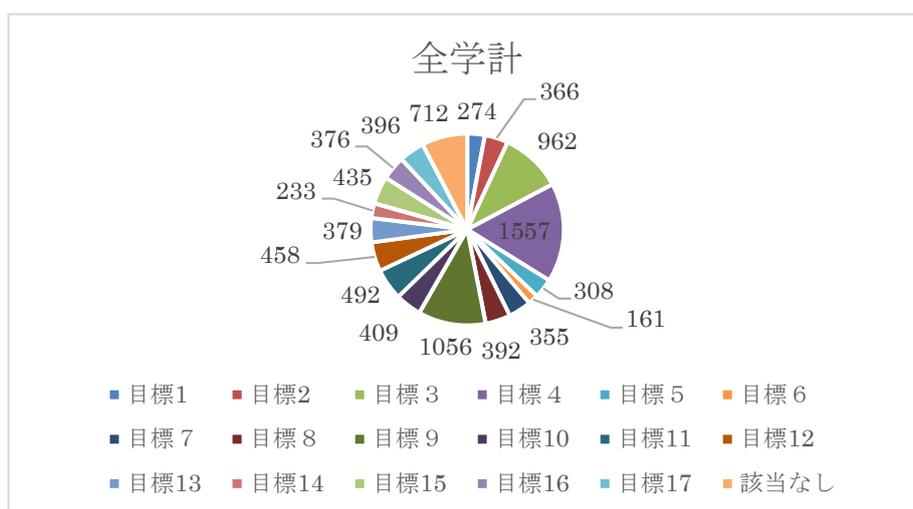
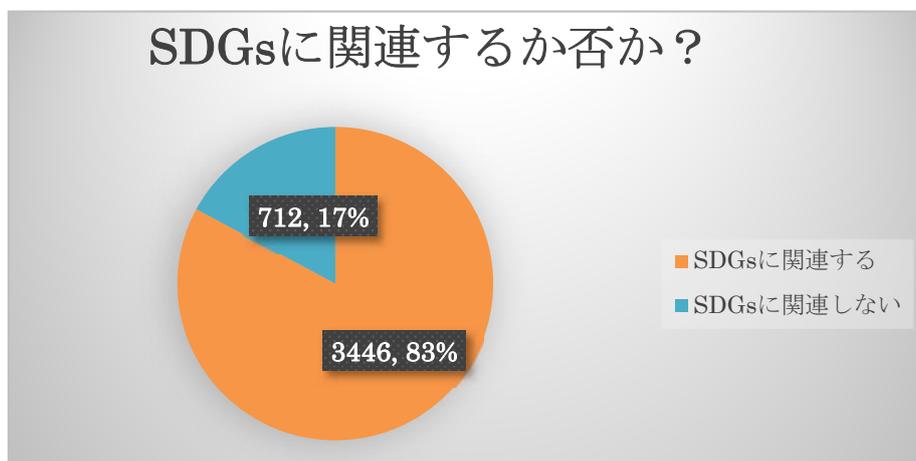


第2回

15

【令和3年度開講科目におけるSDGsの関連状況】

令和3年度のシラバス（授業計画）から、講義等を担当する各教員がSDGsの17目標のいずれに関連するか、あるいは否かを判断し入力できるシステムに改修しました。その結果、令和3年度に本学が開講する全4158科目のうち、3446科目がSDGsの17目標のいずれかに関連することがわかりました（全体の82.9%）。



目標別では、1位が目標4「質の高い教育をみんなに」が1557科目、2位が目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」で1056科目、3位が目標3「すべての人に健康と福祉を」で962科目となっています。

【今後の展望】

- 本学の学生・教員のSDGs認知度は、昨年度の取組効果もあり、80%以上になりましたが、今年度もさらなる“empower!”を継続し、年度末の「第3回SDGsに関する意識調査アンケート」では、回答率の向上を図りながら、90%以上の認知度を目指します。
- 新開講の基盤共通教育科目「YU empowering with SDGs」の教育効果を見極めつつ、ローカルからグローバルSDGs人材教育への展開、さらには各学部における専門教育への波及を図ります。

お問い合わせ
YU-SDGs タスクフォース
エンrollment・マネジメント部国際交流課・課長 今野 浩美
TEL 023-628-4118 メール rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

【令和3年度「YU empowering with SDGs～ローカルSDGsの実践～」シラバス】

担当教員：林田光祐、栗山恭直、下平裕之、古川英光+外部講師7名

担当教員の所属：YU-SDGsタスクフォース+やまがたSDGs推進ネットワーク（YES-Net）

開講学期：前期 単位数：2単位 開講形態：講義 領域：応用と学際

【授業概要】

・授業の目的

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標（SDGs：Sustainable Development Goals）のアウトラインと特徴を理解した上で、本学のSDGsに関連する教育・研究と山形県内の企業・自治体における先進的なSDGsの実践を学ぶことによって、“自分ごと”としてSDGsを捉え、行動できるようになることを本授業の目的とする。

・到達目標

- 1) SDGsのアウトラインと本学を含むローカルSDGsの実践を理解する。
- 2) 1)を理解した上で、“自分ごと”としてSDGsの達成に貢献しうる行動ができるようになる。

【授業計画】

・授業の方法

- 1) この授業は対面の講義形式で行うことを原則とする（新型コロナウイルス感染症の状況によりオンラインで行うこともある）。
- 2) 主担当教員や副担当教員（YU-SDGsタスクフォースメンバー教員）、さらにはローカルSDGsの実践者（企業、自治体等）によるオムニバス講義を行い、幅広いSDGsの知識と実践を学修できる。
- 3) 2)による学修後に、“自分ごと”として行動できるような行動計画をグループでまとめ、口頭発表を行う。グループは受講者の人数に応じて第3回目の授業で編成する。

・日程 月曜日7～8校時 14:40～16:10

- | | |
|-------------|-----------------------------------|
| 第1回（4月19日） | ガイダンス・SDGsのアウトライン（オンデマンド） |
| 第2回（4月26日） | YU-SDGsとやまがたSDGs推進ネットワーク（YES-Net） |
| 第3回（5月10日） | グループ分けと今後の活動の説明 |
| 第4回（5月17日） | 外部講師による講義 飯豊町企画課 高橋弘之課長 様 |
| 第5回（5月24日） | 同上 (株)モンテディオ山形 神村昌志営業部長 様 |
| 第6回（5月31日） | 同上 日本たばこ産業(株)山形支店 墨谷健二支店長 様 |
| 第7回（6月7日） | 同上 (株)山形新聞社 峯田益宏編集局次長 様 |
| 第8回（6月14日） | 同上 山形大学生生活協同組合 高橋直也専務理事 様 |
| 第9回（6月21日） | 同上 リコージャパン(株)山形支社 佐藤亮敏 様 |
| 第10回（6月28日） | 同上 NPO法人知音 山崎多代里代表 様 |
| 第11回（7月5日） | グループ別活動（オンラインを使用する場合がある） |
| 第12回（7月12日） | グループ別活動（オンラインを使用する場合がある） |
| 第13回（7月19日） | グループ別活動（オンラインを使用する場合がある） |
| 第14回（7月26日） | 発表会 |
| 第15回（8月2日） | まとめ |